

大東市立歴史民俗資料館

学芸員の雑記帳

企画展「大東の風景」に向けて

三寒四温。

言葉の通り、寒暖の差が激しい今日この頃です。

さて、歴民ではもう春の準備を始めています。

今年は市制 55 周年にあたりますので、これまでを振り返り、これから先の未来を見せる展示を企画しています。

市役所ができたり、阪奈道路が開通したり、「大東市」にもいろいろな歴史があります。同時にそこに暮らす「皆さん」にも歴史あります。

子どもころどんな遊びをしましたか。

友達と交換したマンガには、どんなお話が載っていましたか。

55 年前に子どもだった人も 2000 年代に子どもだった人も、みんながその「歴史を」を話すことができる、そんな展示になる予定です。

↓市民学芸員の知恵を借りて、「当時の流行」を検討しています。



企画展「大東の風景」は4月9日(土)から開催します。どうぞ、ご期待ください。

大東市立歴史民俗資料館

学芸員の雑記帳

ただいま企画展開催中

歴民では、大東市市制55周年を記念して、4月9日より5月8日まで企画展「大東の風景」を開催しています。

「ふりかえる大東の風景」コーナーでは古い写真や10年ごとに区切られた年表、そしてみなさんが子どもの頃手にした懐かしいマンガやおもちゃとともに、市制施行からの55年間をふりかえります。

また、「のこしたい大東の風景」コーナーでは、市民のみなさまから公募した絵画や写真などを展示しています。未来にどういった風景を伝えのこしていきたいのか、作品を通して感じていただければ幸いです。

今回の展示のなかで、「大東百景」という映像コーナーがあります。この映像は、深野中学校の生徒たちが、市内100箇所の風景をファインダーにおさめたものです。しかも驚くのは、彼らが自主的に企画し、編集まで行ったということ。放課後や休日を利用して現地へ赴き撮影したようです。映像のなかに夕暮れ時の写真が多いのもそのような事情があるからなのです。中学生の視点で撮影された「大東百景」をぜひご覧ください。

ほかにも市民学芸員による「私のモノ語り」展示など、いろいろな展示コーナーを設けています。各世代でお楽しみいただけたと思いますので、みなさまお誘いあわせの上、お気軽にお越しください。



「大東百景」を手がけた中学生たち